



普及だより



編集発行
大隅地域振興局農林水産部農政普及課
肝属地域農業改良普及事業協議会

鹿屋市打馬 2 丁目 16-6
TEL : 0994-43-3121 (代)
0994-43-3166 (夜間直通)
FAX : 0994-44-3508

新規就農者39人!! 励ます会開催 ~ ようこそ ニューファーマー ~



本県の新規就農目標

は年間300人で、H21年度は337人が就農しました。肝属地域では、H21年4月1日からH22年5月末までに39人が就農しました。

当振興局では、6月28日に「肝属地域新規就農者を励ます会」を開催しました(主催:大隅地域振興局・肝属地域農業改良普及事業協議会,共催:肝属指導農業士会・肝属地域女性農業経営士会)



農政普及課長からエール

当日は、新規就農者10人のほかに、指導農業士や女性農業経営士・農業青年クラブ・青年農業士会等の先輩農業者をはじめ、市町やJA関係者等約50人が出席しました。口蹄疫の防疫上、畜産の就農者11人の方には、今回の出席は見合わせていただきましたが、終息後には改めて研修会を開催する予定です。



記念品贈呈

会では、野入農政普及課長が「就農されたみなさんが、少しでも早く地域に馴染み、定着・活躍していただくことを期待しています」とエールを送った後、新規就農者からの自己紹介と併せて、就農した経緯、目指す営農や課題等を話してもらいました。

出席者を代表し、垂水市の水迫順一市長(農業改良普及事業協議会会長)、指導農業士の武田栄一郎氏、女性農業経営士の中辻三和子氏から「多くのサポーターが支えている、大いに利用してほしい」等とアドバイスがありました。

自分の経営に向かって、前に前に進み、成果を上げてほしい!!



水迫会長

<< 地区別分科会・新規就農ヨイ・ドン講座を開催!! >>

「分科会」では、就農後の営農・生活等の悩みに対し、意見交換を行い、農業青年クラブからは「個人の悩みを分かち合える仲間はずいいるので相談して欲しい」と仲間づくりの大切さやクラブ活動紹介が、各市町からは就農支援の内容・受け入れ組織等の紹介がありました。「ヨイ・ドン講座」では、農政普及課の紹介、各種研修制度、経営者としての心構え等を説明しました。



分科会で意見交換

就農者のみなさん!! 肝属の多くの応援団がサポートします。何でも気軽に御相談ください。

<肝属地域における I P M への取り組み>

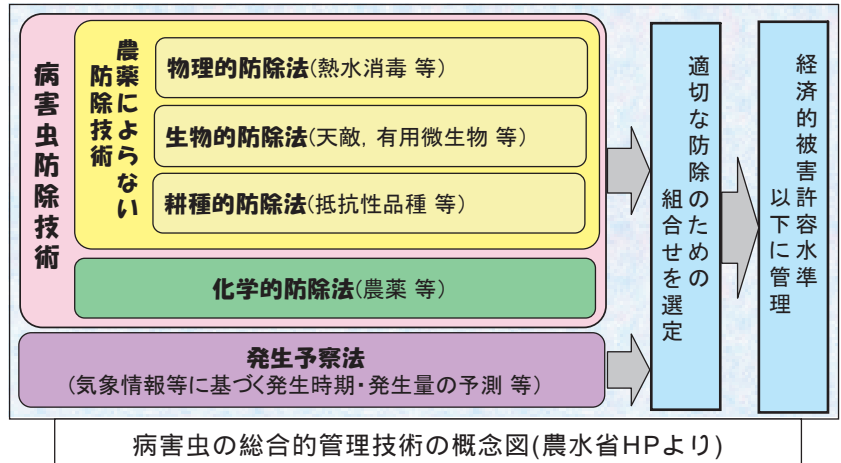
～ 安心・安全な農産物生産に向けて ～

1 はじめに

「安心・安全な農産物」が求められる中、肝属地域でもたくさんの農家が、消費者の立場に立って「エコファーマー制度」や「かごしまの農林水産物認証制度」を活用し、「安心・安全な農産物づくり」に日々がんばっています。

特に、病害虫防除については、化学農薬に依存したこれまでの防除体系から、様々な技術を組み合わせて病害虫の発生増加を抑える「総合的病害虫管理（I P M）」への取り組みが始まっています。

具体的には、化学的防除のみでなく輪作体系や抵抗性品種などの耕種的防除、熱による土壌消毒などの物理的な防除、天敵やフェロモンなどの生物的防除を組み合わせ、農作物の被害が経済的に許容できる水準以下になるよう病害虫の密度を低く保つ技術です。今回は管内における I P M 技術の取り組み事例を紹介します。



2 野菜・果樹における天敵の取り組み

野菜や果樹における天敵利用については、これまでは全国的に見ても、イチゴにおけるハダニ天敵が普及している程度で、他の天敵については、効果がはっきりしない、定着させるのが難しい等の理由から広く普及するまでには至っていませんでした。

しかし、H20年12月に「複数の害虫を補食する」「定着が容易である」等の特徴をもった新たな天敵「スワルスキーカブリダニ」が登録され、管内においても良い成果がでています。

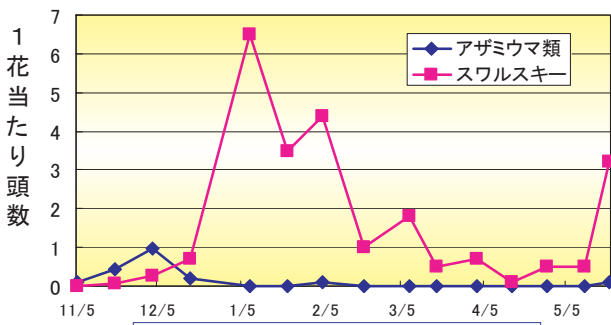


スワルスキーカブリダニ

スワルスキーの適用害虫と使用方法			
作物名	適用病害虫名	使用時期	使用方法
野菜類(施設栽培)	アザミウマ類、	発生直前 ～ 発生初期	放飼
豆類(種実)(施設栽培)	コナジラミ類、		
いも類(施設栽培)	チャノホコリダニ		
かんきつ(施設栽培)	ミカンハダニ		
マンゴー(施設栽培)	チャノキイロアザミウマ		

ピーマンにおける取り組み

肝属地域の重点品目であるピーマンは「安心・安全」を理念に栽培していますが、害虫防除、特にアザミウマ類の防除が大きな課題となっています。そこで、害虫被害の抑制と防除回数の低減を目指してスワルスキーカブリダニの導入実証を行いました。



昨年11月に東串良町の6戸の農家で放飼を行い、害虫と天敵の生息数調査を行った結果、害虫の密度は栽培終了まで抑制され、ピーマンにおいて高い害虫抑制効果が確認されました。

6戸の中には、放飼前の薬剤が影響し天敵が増加しにくかったり、後半の天敵が増えきらなかったりと実証農家間で差はありましたが、評価は総じて高く、次作では部会全体へ普及することになりました。

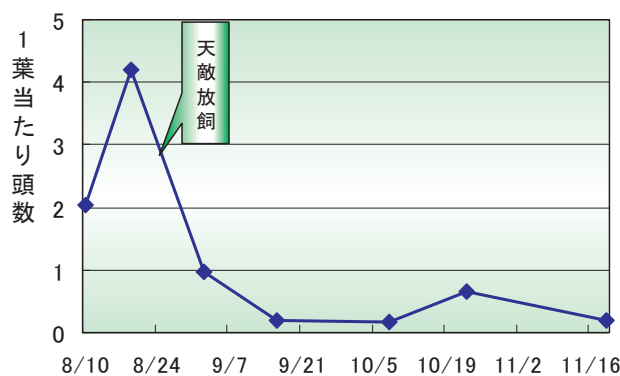
グリーンレモンにおける取り組み

肝付町を中心に産地化が進みつつあるグリーンレモンは、減化学農薬・減化学肥料栽培に取り組み、量販店との契約販売を行っています。グリーンレモン栽培ではミカンハダニの発生が多く、果皮の障害による商品性低下が課題となっています。そこで、ミカンハダニの密度低下を目指して実証を行いました。

昨年8月にスワルスキーカブリダニを放飼した結果、放飼直後からミカンハダニの減少が確認され、1ヶ月後には、防除の目安となる1葉当たり0.5頭を下回りました。その後もミカンハダニが増加することはなく、長期にわたっての抑制効果が確認されました。この結果からハウスミカンやキンカンでも実証が始まり、施設柑橘全体での天敵導入の気運が高まっています。



天敵放飼の様子



天敵放飼前後のミカンハダニの推移(グリーンレモン)

3 茶における物理的防除法の取り組み

クワシロカイガラムシは幹・枝に寄生し、薬液がかかりにくいいため薬液が大量に必要なことや、防除適期が短いこと等から、茶の難防除害虫として位置づけられています。

そこで、昨年は鹿屋市の茶生産者を対象に、省力で環境にやさしい防除を目的とした「かん水利用によるクワシロカイガラムシの防除」技術の研修を行いました。

この技術は、クワシロカイガラムシの産卵期～ふ化期に大量のかん水を行うことで卵を腐敗させ、増殖を抑える方法で、宮崎県総合農業試験場で開発された技術です。

農薬による慣行防除と同程度の防除効果が得られるため、早速本年の防除から取り組む参加農家もでています。

畑かん施設が整備されている茶園では有効な技術であると考えられます。



茶業部大隅分場での研修

4 その他の技術

施設栽培においては、太陽熱消毒や微生物農薬など天然物質由来の農薬利用、粘着トラップによる発生予察などは一般的な技術となっています。また、高度な技術のみではなく残渣の適正処理や周辺雑草の除草、マルチ栽培なども重要なIPM技術であり、化学農薬の低減に役立ちます。

5 最後に

IPM成功の鍵は、「敵を知る」ことです。「今年は、どんな虫や病気が発生しやすく、防除適期はいつ頃か」を適確に判断するため、病害虫の特徴や発生要因、地域での発生状況を知ると同時に、自分の畑をよく観察し、適期に作業を行うことが、化学農薬での防除を減らす第一歩といえます。「安心・安全な農産物」生産に向けて、皆さんも取り組んでみましょう！



粘着トラップの活用

知って**得**する!技術情報!!～畜産編～

口蹄疫侵入絶対阻止

宮崎県における口蹄疫の発生においては、4月27日以降、鹿児島県でも「県口蹄疫対策本部」を設置し、県・市町村・関係団体等と一体となって「口蹄疫侵入防止」に努めています。

H12年の発生時に比べると、その被害は甚大であり、鹿児島県においても「準非常事態宣言」が出されたことから大きな社会問題となっています。

今回は、皆様が普段されている消毒についておさらいしたいと思います。

1 口蹄疫侵入防止対策

畜舎入り口に踏み込み消毒槽を必ず設置する。

畜舎は定期的に消毒する。

畜舎用の作業着と長靴を準備して、外からウイルスを持ち込まない。

常時 家畜を観察し、多量のよだれ等の異常を感じたら、すぐに肝属家畜保健衛生所等へ連絡する。

(肝属家畜保健衛生所：電話番号43-2515)

防鳥ネットや消毒剤散布により、鳥やネズミ対策をしっかりと行う。

畜舎は、きれいに掃除をする。

2 消毒のポイント

アルカリ性の消石灰と酸性の消毒薬(バイオシッド、クレンテ等)が混ざると中和されて、効果がおちるので、混ぜないこと。

消石灰は雨が降ると、消毒効果が薄れるので、再度散布すること。

踏み込み消毒槽は2つ準備する。できないときは踏み込み消毒槽に長靴を入れる前に、水で長靴をきれいにする。

1つの踏み込み槽には水と泥落としマットを入れて、汚れ落とし専用とし、汚れたら、水をこまめに交換すること。

汚れた長靴を消毒槽に入れると消毒効果は急激に低下することから、泥や汚れは落とすこと。



自主消毒ポイント(肝属管内)



県強化消毒ポイント(都城市)

す と っ ぶ 口蹄疫
S T O P

県民一丸となって口蹄疫の侵入を阻止しましょう!!

知って得する! 農業経営情報!!

わが家の決算内容を家族で話し合ってみましょう!

税務署に確定申告をして、約半年が経過しました。
 確定申告に添付する農業経営の決算書は、よく見ると経営上の課題がいっぱい詰まっています。
 そこで、H21年の決算書を、もう一度見て、この内容を家族全員で話し合うことをおすすめします。
 きっと、経営改善につながるヒントが隠れているはずです。

1 貸借対照表の期首と期末を見比べてみましょう!

青色申告決算書の4ページ目は、貸借対照表です。複式簿記を行い、これを記入すると、最大65万円の青色申告特別控除を受けられるので、近年、記入する人が増えています。

この貸借対照表には、経営上の課題がいっぱい詰まっています。ちょっとだけ時間をとって、去年の決算書を引っ張り出して貸借対照表を見てみましょう。

たとえば、貸借対照表が右表のようだったとしましょう。一見すると、所得が380万円あがって、まずまずの経営のように見えます。

しかし、よく見ると、(事業主貸 - 事業主借) > 所得となっており、農業所得で、家計費をまかないきれていないことがわかります。

次に、企業の資本金にあたる元入金の増減を見てみましょう。

$$\text{次年度期首元入金} = (\text{今年度期首元入金}) + (\text{事業主借}) + (\text{所得}) - (\text{事業主貸}) \text{ の式で計算すると, } \\ 700 + 20 + 380 - 500 = 600 \text{ となり}$$

(今年度元入金 = 700) < (次年度元入金 = 600)となり、元入金の額が減少しています。これは、自己資本の減少であり、経営基盤が弱体化していることを示しています。

この他にも、様々な経営の成長性、安定性を示す指標があり、貸借対照表を正確に作成していれば、計算できます。

資産の部(万円)			負債・資本の部(万円)		
科目	期首	期末	科目	期首	期末
流動資産	100	100	流動負債	100	300
固定資産	1,500	1,400	固定負債	800	600
			事業主借		20
			元入金	700	700
事業主貸		500	所得		380
合計	1,600	2,000	合計	1,600	2,000

2 経営の課題解決は、家族全員で話し合い実践しましょう!

経営上の課題が見つかったら、その原因を探らなければ、解決の糸口は見えてきません。

原因は、天災や社会情勢の変化など本人の努力ではどうしようもないところに起因することもあります。多くは、技術不足、労力不足、家計の問題などに起因するものです。

これらの課題解決には、農業経営に関わる家族全員で話し合っ、意志の共有を図り、解決方策の実践をすすめなければなりません。

農政普及課では、経営上の課題を見いだすための複式簿記の記帳と経営分析をおすすめしています。また、経営分析で明らかになった課題の解決に向けた支援も行いますので、詳しくはお問い合わせください。



知って**得**する!技術情報!!～野菜編～

葉茎菜類のセル成形苗育苗<レタス、はくさい、キャベツ、ブロッコリー>

セル成形苗とは、鉢径が数cmの小型育苗容器が連結したセルトレイで育苗した苗です。狭い面積、少ない培土量で短期間に大量に育苗できます。しかし、気温が高い時期は、発芽がうまくいかない、苗が揃わないなどのトラブルも起こりがちです。がっちりした良質苗づくりの参考にしてください。

1 培土・セルトレイの選択

(1) 水もち・水はけが良く、柔らかく、適度の肥料を含む培土を用いよう!

- ・自家製培土の利用も可能ですが、限られた培土量での育苗になるため、市販の培土を利用するのが無難です。培土の種類によって肥料の量・効き続ける期間、水もちなどに違いがあります。事前に特徴を把握し、作物の種類や育苗場所、育苗時期によって使い分けましょう。

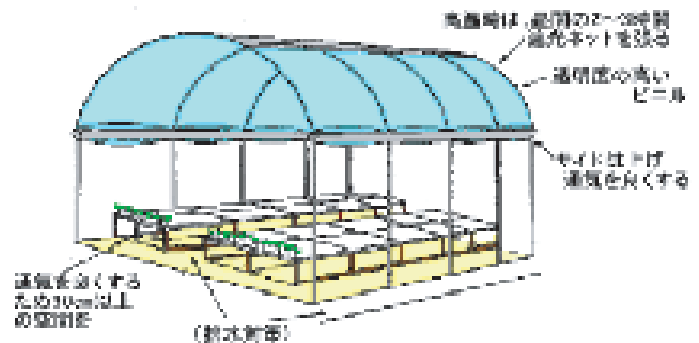
(2) 作物の種類と仕上げる苗のステージによりセルトレイの使い分けを!

- ・本葉3～4枚の苗を作る場合、右表を参考に作物別にセルトレイを選んでください。
- ・温度が高い時期は、白色のセルトレイを使用すると、地温の上昇や葉やけを防ぐことができます。

作物名	トレイサイズ	育苗日数
レタス	200穴	20～25日
はくさい	128穴	
キャベツ		25～30日
ブロッコリー		

2 は種から発芽まで

- ・間引きを省略するため1穴1粒は種を基本とします。
- ・は種後の乾燥防止のため、新聞紙や不織布などを被覆し、発芽したら直ちに除去します。
- ・高温期は、気温が上がらないよう風通しを良くし、場合によっては遮光し温度を下げましょう。



3 育苗管理のポイント

(1) 徒長を抑えるために

夜間の高水分に注意・・・高温期は、朝昼2回のかん水が必要になりますが、昼からのかん水は夕方に表面が乾く程度に調整します。トレイ周辺は乾燥しやすいので、かん水量を多めにし、生育ムラがでないようにします。

風通しを十分に・・・風通しの良い場所での育苗とし、扇風機の利用も効果的です。

トレイの下に空間を・・・余分な水を排水し、根が鉢の中で張るようにトレイ下に30cm以上の空間をとります。

光をよく当てる・・・根張りがよく、葉もがっちりした苗を作るには十分な光が必要です。日当たりの良い場所を選びましょう。



キャベツ
本葉:3～4枚、草丈:6～8cm
良質なセル苗

(2) 追肥

- ・葉色が落ちてきたら、濃度の薄い液肥(1,000倍)を追肥します。

知って**得**する!技術情報!!～果樹編～

樹形改造で省力化と品質向上を図ろう!

皆さんの柑橘園は、樹が大きくなりすぎていませんか？

樹が大きいと、収穫、剪定、薬剤防除等の管理作業が大変です。また、樹の大きさの割には収量が少なかったり、防除はしっかりしているのに商品化率が低いといった経験はありませんか？

そういう園は、樹形改造をおすすめします。今回は不知火で樹形改造を実施しましたので、紹介します。

1 時期

剪定時期と同じ2月中旬～3月中旬ですので、間伐樹を決定したり、樹形改造する樹をどの程度コンパクトにするか考えておきましょう。

2 樹形改造の方法

- (1) 樹種によって異なりますが、2.5～3mを目安に樹高を決めます。
- (2) 収穫・運搬や薬剤散布等の作業管理を考えて列幅，株間を決めます。
- (3) 目標とする樹高，列幅，株間が決まったら，図1のように刈り込みます。

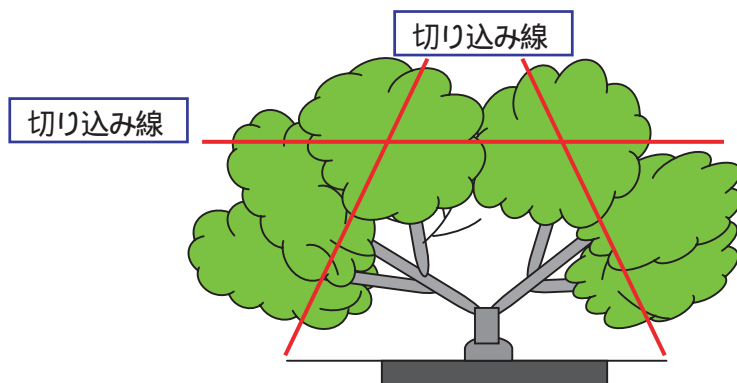


図1 開心自然形樹の樹形改造



図2 樹形改造前

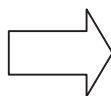


図3 樹形改造後



樹がコンパクトになることで作業が楽になります。また、受光態勢が良くなるので、高品質果実の割合も高まります。ぜひ皆さんも樹形改造に取り組んでみませんか！

「農業お助け隊」が行く!! (串良4Hクラブ)

「忙しいクラブ員の畑にみんなで行って加勢しよう」という会長の一言で始まった「農業お助け隊」。まずは言い出しっぺの会長のからいも畑にクラブ員7人が押しかけて収穫をお助けしました(H21年度~)。



第1回目, 2回目はからいも収穫

会長の前田吉海さん

予定した畑の収穫はあっという間に終了、両親にも大受け。

「4Hクラブもためになるなあ~。」

「人の加勢をもらうには、ちゃんと段取りをしてないといけないな~。」

「父ちゃんと2人の時は無言だもんね~。」

2回目は作業にも慣れてきて、さらにスピードアップ。数の力はすごいと実感。

第3回目, 4回目は花木の植え替え

「やったことないけど大丈夫?。」

「やってみれば結構出来るじゃん。」

予定以上に作業がはかどり父ちゃんは大感激!

夜は急きょ呑ん方に!



第5回目は牛の角切り



「ゲゲ~!!」

「ほんとうにやるの~。」

「やってみればいろいろ勉強になるわ。」

「他のクラブ員の家の仕事をして、初めて言ってる事がわかるなあ。」

「お助け隊」を通じ、労力補完はもちろんのこと、何より、クラブ員同士の理解が高まり、活動が盛り上がってきたのがうれしいね!次は何でしょうか?

鹿児島県農業功労者賞表彰 おめでとうございます!!



平成22年度
肝属地区花き振興会総
お披露目の中辻盛雄氏



指導農業士会長
竹川鉄舟氏

農業功労者賞は、長年にわたり本県農業の発展に寄与された方に県知事より授与されます。

今回、花き振興・後継者育成に貢献された中辻盛雄さん(串良町)と畜産振興・後継者育成に貢献された肝属指導農業士会会長の竹川鉄舟さん(鹿屋市)が表彰されました。

これからも地域農業振興へ貢献して頂けることを期待しています。